

- ・開業医慢性疼痛診療連携事業について
- ・施設紹介（富永病院脳神経内科・頭痛センター、関西医科大学附属病院痛みセンター）

開業医慢性疼痛診療連携事業について

これまでの取り組み

慢性疼痛は罹患率が高く、現状では医療費をかけても克服が難しい。慢性疼痛によって失われる社会的コストも問題となっている。プライマリケアを担う開業医における質の高い慢性疼痛診療の提供、専門機関との連携は、今後の慢性疼痛診療改善には極めて重要である。薬物治療や物理療法、神経ブロック治療は広く行われているが、全ての慢性疼痛疾患を克服する事は出来ない。質の高いエビデンスのある運動療法や心理社会面へのサポートに対しては、十分な診療報酬が与えられておらず実施が困難である。本事業では運動療法や心理社会面への支援を行っている開業医が中心となり2018年より、開業医慢性疼痛セミナー開催、施設見学、診療連携の促進を行ってきた。

これまでのセミナーでは、整形外科、ペインクリニック科、リハビリテーション科、理学療法士、臨床心理士、精神科、心療内科の各分野のエキスパートに講演を依頼した。

内容面では運動療法の実際・採算性の紹介、生物心理社会モデル、認知行動療法、コミュニケーションスキル、スタッフとの連携・教育など多岐にわたった。

2020年9月より、リハビリテーション療法士慢性疼痛セミナーとの合同開催とし、新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン開催を余儀なくされたが、診療シミュレーション動画を取り入れるなど、特別な知識が無くても慢性疼痛診療の一步が踏み出せるよう実践的な内容になるよう工夫を重ねた。

本セミナー2回以上の参加者には、「長引いているその痛み、報知器の誤作動かも」うポスターを配布し慢性疼痛への理解や対処法の広報を行った。



今後の展望

運動療法や認知行動療法には高いエビデンスがあるが、労力に比して診療報酬が低い、費用面での改善が望まれる。医療者患者間のコミュニケーションやスタッフ教育の見直しでも患者の自主的な取組を支援できる。プライマリケアの現場では出来ることから始めるといったメッセージの発信が重要である。

現在は、新型コロナウイルス感染拡大により、施設間見学が難しい為、早期終息が望まれる。

阪上 学（さかうえクリニック）

社会医療法人寿会 富永病院 脳神経内科・頭痛センター



富永病院頭痛センターは2010年に開設、年間約1000名の頭痛を主訴とする初診患者を診療しています。対象疾患は、片頭痛や緊張型頭痛、群発頭痛などの一次性頭痛が中心ですが、髄膜炎、脳炎、脳血管障害による頭痛など二次性頭痛の診療もしています。日本頭痛学会教育施設、地域頭痛教育センターに認定されており、頭痛専門医9名、頭痛指導医4名の体制で、頭痛専門外来を週5日、8枠開設しています。

来院される患者さんは、フリーアクセスの頭痛患者、地域プライマリケアの先生方からのご紹介、基幹病院の脳神経内科や脳神経外科からのご紹介などが多くありますが、難治例では近畿圏外からの紹介患者もおられます。難治例や経過観察が必要な症例は入院精査・治療に対応しています。脳神経内科、頭痛センターとして年間802例の入院があり、このうち176例が頭痛性疾患でした（2019年実績）。

慢性片頭痛、片頭痛発作重積、三叉神経自律神経性頭痛など難治性の一次性頭痛や髄膜炎等二次性頭痛の入院も対応しています。厚生省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業に参画させていただき、2020年10月に、頭痛診療に特化した集学的痛みセンターとして認定を受けました。医師、看護師、理学療法士、臨床心理士で月1回、カンファレンスをもち症例検討を行っています。頭痛医療の啓発活動、教育活動として、医師、看護師、コメディカルの卒前教育として臨床実習を受け入れており、また卒業後教育も担っています。患者さんへの啓発活動として年数回の頭痛教室、市民公開講座も実施しており、頭痛医療を推進する患者と医療従事者の会（JPAC）の活動も積極的に参加しています。また、頭痛研究にも注力しており、症例シリーズの臨床研究、多施設共同研究を行っており、新規治療薬の開発治験にも協力しています。ひとりでも多くの頭痛で悩む患者さんを救済できるようスタッフ一同精進して参ります。機会がございましたら当院頭痛センターへ見学、視察におこしください。

文献：竹島多賀夫. 頭痛教育施設認定と頭痛センター. 日本頭痛学会誌48：115-9, 2021

竹島多賀夫

関西医科大学附属病院 痛みセンター

2020年、関西医科大学附属病院に念願の痛みセンターができました。名称としては「集学的痛みセンター」を希望していたのですが、「集学的」という言葉が一般的ではないとの判断からこの名前になりました。

ペインクリニック、リハビリテーション科、心療内科を中心に整形外科、健康科学センター、頭痛外来、歯科口腔外科、精神科、臨床心理も参加して集学的な診療を実践しています。心療内科は慢性の痛みを全人的観点からとらえ、単に痛みを絞った医療ではなく、痛みを持った患者の生活の質や人生の価値を高める診療を行っています。健康科学センターはこれまでも予防医学の観点から、生活習慣病患者や肥満者に対し、運動療法・栄養指導・心理カウンセリングを行い、疾患予防改善に向けた包括的な取り組みをしてきました。慢性疼痛は治療だけでなく、予防から再発防止まで継続的な視点が必要な疾患です。その点からも予防医学に力

を入れてきた健康科学センターが参加しているのは、当院痛みセンターの強みとも言えるでしょう。受診患者は地域の医療機関からの紹介患者が約3分の2、院内からの紹介が約3分の1となっており、地域の痛み診療に貢献できているのではないかと考えています。まだまだセンターの体制は発展途上ではありますが、今後もさらに病診連携・病病連携を強めていき、痛みセンターのみで完結する医療でなく、地域全体を慢性疼痛診療の先進地域としてリードしていきたいセンターを目指しています。

冒頭に述べた「集学的」という言葉ですが、痛み診療に身を置くものとしては当然と思っていた言葉が、世間一般ではそうではないということに少々驚きました。世間の人々が慢性疼痛をただ痛みがある病気で痛みさえなくなれば問題はないととらえるのではなく、もっと幅広く生活や人生全般におよぶ疾患ととらえて、広範な医療資源を総動員して治療する必要があるのだと認識してもらえるように発信を続けて行きたいと思えます。

水野泰行

セミナー開催案内

2021年11月6日(土)16:00～18:30
第1回開業医・リハビリテーション療法士セミナー

2021年11月14日(日)10:00～12:30
産業医慢性痛セミナー

2021年11月28日(日)14:00～17:10
集学的診療セミナー

2021年12月4日(土)16:00～18:30
地域医療介護連携セミナー

2021年12月5日(日)13:00～15:45
第2回歯科医のためのHeadache Academy
三叉神経・自律神経性頭痛（TACs）の診かた～

その他のセミナー、
詳細はホームページ
にて随時更新中



LINE 友だち追加

事業の公式LINEができました。セミナー情報等を発信しております。ぜひご登録ください。

事務局

〒520-2192
滋賀県大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学麻酔学講座内

ホームページ

<http://painkinki.html.xdomain.jp/>

